

# しぶや 区議会 だより

No.269

第4回定例会号  
新年合併号

平成28年(2016年)  
1月1日発行

## 主な内容

本会議の経過・議案等の概要と結果 … 2面  
代表質問・一般質問(要旨) … 3～6面  
委員会の活動状況 …………… 7面  
新春を迎えての各党派の抱負 …… 8面

発行/渋谷区議会 〒150-8010 渋谷区渋谷一丁目18番21号 ☎(3463)1096(直通) 渋谷区議会ホームページ <http://www.city.shibuya.tokyo.jp/gikai/>

長野県飯田市の水引伝統工芸(ふれあい植物センターで展示)



謹賀新年

## 将来を見据えた価値ある渋谷のまちづくりを目指して

あけましておめでとーございませう

区民の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。飯庁舎へ移転後、初めての新年を迎えました。

庁舎建替えの間、区民の皆様を始めご来庁のお客様にはご不便をお掛けいたしますが、安全・安心のまちづくりには必要不可欠であり、ご理解ご協力をお願いいたします。

昨年は局所的豪雨で河川が氾濫し、大きな被害の発生や箱根山の火山活動が活発化するなど、自然の猛威を改めて感ずる一年でした。

他方、スポーツに目を向けると、ラグビーやフィギュアスケート等日本選手活躍が国内外で話題となりました。国内に於いては、今後、数年の間にラグビーワールドカップや、オリンピック・パラリンピック競技大会等の国際大会が控えています。

世界中の注目を集めて、多くの人々を迎える本区では、受入体制の整備と充実、安全対策の向上は震災対策と共に喫緊の課題であり、情報発信等のインフラ整備も必須であります。

これらの課題は、自治体単独で整備できる枠を超え、区や都、国等の行政に加えて、事業者の民間活力と、さらには区民の皆様や在勤、在学の皆様のお知恵と力をお借りして、将来を見据えた価値ある渋谷のまちづくりを一体となつて進めていかなければならないものと考えております。

また、少子化の重点課題である待機児対策は、「西原保育園ゆめ」、「おやま保育室」、「西原ほほえみ保育室」「よまさき三丁目保育園」の開設等、様々な手法を視野に、取組を強化し、引き続き解消に努めてまいります。

渋谷区議会は、「平和・国際都市渋谷」にふさわしく、区民の皆様が将来に明るい希望を持ち、誰もが住みやすく、暮らしやすい、そして、魅力がふれるまちを目指して、様々な視点と角度から、行政と共に進めてまいります。

本年が区民の皆様にとりまして、より良い年でありまことを心から祈念申し上げます。

議長  
木村 正義



副議長  
沢島 英隆



総務委員会委員長 齋藤 竜一  
区民環境委員会委員長 治田 学  
文教委員会委員長 菅野 茂  
福祉保健委員会委員長 田中正也  
議会運営委員会委員長 下嶋 倫朗

自治権確立特別委員会委員長 前田 和茂  
交通・公有地問題特別委員会委員長 佐藤 真理  
庁舎問題特別委員会委員長 小柳 政也  
五輪・パラリンピック対策特別委員会委員長 久永 薫

第4回定例会

渋谷区行政不服審査会条例、渋谷区地域交流センター条例の一部を改正する条例などを可決

平成二十七年第四回定例会は、十一月二十六日から十二月九日までの十四日間開かれ、本会議の初日には五人の議員が代表質問を、二日目には、四人の議員が一般質問を行いました。

今定例会では二日目に職員への給与に関する条例の一部を改正する条例など条例五件を可決し、最終日には、渋谷区児童青少年施設条例など条例十件、公の施設の区域外設置に関する協議について、新宮下公園等整備事業に関する基本協定締結について、定期借地権の設定について、指定管理者の指定二件を原案のとおり可決しました。また請願三件を不採択とし、意見書一件を決定しました。

地方単独事業に係る国民健康保険の減額調整措置の見直しを求める意見書

本年「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律」が成立し、国民健康保険の財政基盤の強化や都道府県による財政運営に向けて具体的な改革作業が始まった。さらに国民健康保険改革に当たっては国と地方の協議により、地方単独事業に係る国庫負担調整措置の見直しなどが今後の検討課題とされた。

一方、地方創生の観点から人口減少問題に真正面から取り組むことが求められており、全国の自治体では単独事業として乳幼児医療費の助成制度の拡充などに取り組む事例が多々みられる。

さらに、平成二十六年年度補正予算で用意された国の交付金を活用し、対象年齢の引き上げなどの事業内容の拡充に取り組む自治体も報告されている。よって渋谷区議会は、国会及び政府に対し、こうした状況の中で、全ての自治体で取り組まれている乳幼児医療の助成制度や、さらにその拡充等、単独の医療費助成制度に対する国の減額調整措置について、次のとおり早急に見直しを行うよう強く要請する。

一 人口減少問題に取り組むいわゆる地方創生作業が進む中、地方単独事業による子ども等に係る医療費助成と国民健康保険の国庫負担の減額調整措置の在り方について、その検討の場を早急に結論を出すこと。

二 検討に当たっては、少子高齢化が進行する中、子育て支援、地方創生、地域包括ケア等の幅広い観点から実効性ある施策を進めることが必要であり、そうした観点から子ども等に係る医療の支援策を総合的に検討すること。

以上、地方自治法第九十九条の規定により意見書を提出する。

平成二十七年十二月九日

- 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 財務大臣 総務大臣 厚生労働大臣

あて

渋谷区議会議長 名

第4回定例会 / 議案等の概要と結果

Table with 10 columns: Item Name, Summary, and voting results for various parties (Liberal, Communist, etc.) and a final result column (Adopted/Not Adopted).

代表質問

渋谷区基本構想の改定、子育て支援等 6 点を伺う



自由民主党 藤井 敬夫 議員

渋谷区基本構想の改定について

① オフィス面積などが増えるに伴い、賃借料が上がる... ② 更なる共生社会実現に向け、今回の基本構想の改定において特に強化したい点、新しく加えたい点等、審議会を実施するにあたり必要と思われる事項を具体的に伺う。

① まずは制度をしっかりと定着させるため、わかりやすく情報提供し、丁寧に対応していくことが必要... ② 男女差別の解消に努める... ③ 子育て支援について

① 小規模保育事業を含めた多様な保育施設の整備・拡充... ② 小規模保育事業を含む保育施設開設を希望する事業者から相談を受けており、具体的な協議に入っているものもある。

① 教育大綱の策定に当たり、教育委員会との総合教育会議においてどのような協議を行い、これからの渋谷区の教育についてどのように考えていくか伺う。

① 区民の利便性を考慮し、開館時間の弾力的な運営をしていく考えはあるか... ② より一層区民サービスの向上を図るため、これからどのように図書館運営を充実させていくのか伺う。

① 各館の地域特性、利用者ニーズを改めて分析し、民間専門事業者のノウハウを活用することも含め検討する... ② より一層民間活力の導入を図り、区民ニーズに応えた図書館サービスの充実を努める。

① 区として、将来的に同性パートナーシップをどのようになし、発展させていくのか、展望を伺う... ② 不動産会社での入居審査において、どのような事例が罰則の対象になるのか。今後、他業種に対する罰則はどのように考えているのか伺う。

① まずは、認知症サポーターを増やすことに力を入れていく... ② 地域の中核的な区主催の養成講座開催をはじめ、特に若い世代から正しい知識を持ってもらうため、来年度に向けて区立中学校全生徒に受講してもらう準備を進めている。

① 区民に知らせず庁舎建替えの重大変更をなぜ契約書に含めた土地の譲渡を規定したのか... ② 渋谷駅周辺再開発の区負担はいくらか。

① 国民健康保険料の①国庫負担引上げを国に求めよ... ② 一般財源導入で低所得者の負担軽減を... ③ 高校生までと七十五歳以上の住民税非課税世帯の医療費の無料化を。

① 要支援者の総合事業移行は現行介護サービスと介護報酬準備保障、事業者確保を... ② 地域包括支援センター増員



① 区民に知らせず庁舎建替えの重大変更をなぜ契約書に含めた土地の譲渡を規定したのか... ② 渋谷駅周辺再開発の区負担はいくらか。

大企業の利益最優先から区民負担の軽減第一に転換を



日本共産党 菅野 茂 議員

① 国民健康保険料の①国庫負担引上げを国に求めよ... ② 一般財源導入で低所得者の負担軽減を... ③ 高校生までと七十五歳以上の住民税非課税世帯の医療費の無料化を。

▷代々木二・三丁目の  
公務員住宅跡 (国有地)



と地域ネットワークのコーディネートセンター配置を。地域団体の活動場所確保等の支援を。③住民税非課税世帯や利用料二割負担の人等に軽減策を。④特養ホーム増設と、東京都に小規模特養ホームの補助要請を。⑤国に介護報酬引下げ中止要請と独自の助成等を。

**区長** ①現行サービス水準を保ち「渋谷区版地域包括ケアシステム」を構築。②地域包括ケアセンターを強化。③減額制度は実施している。④旧本町東小跡地に整備。今後は人口等分析し検討。東京都に要望書を提出。⑤中止は求めない。助成制度の実施はない。

**福祉部長** ①同等サービスの提供と同一の介護報酬単価で実施予定。②四カ所の機能強化型地域包括支援センターに増員し成果が出た。地域ネットワークコーディネーターや認知症対応を含め検討。地域の掘り起こしや団体等を応援。③新たな軽減策の考えはない。

がん検診について

**区長** 区内指定医療機関ですべての検診ができるようにし日曜検診と二次検診の無料化を健康推進部長、適切な精度管理で検診を実施。他医療機関では困難。土曜受診はできるが、日曜検診等実施予定なし。

代々木二・三丁目の国有地の活用について

**区長** 国に提示した具体的な活用内容と取得の決定はいつか。福祉、教育、住宅供給用地等を例示、平成二十七年九月に取得要望書を提出。二十八年六月頃に譲渡先が決定。

子育て支援、自転車安全対策など7点について伺う



党 議員  
久永 明 議員

子育て支援について

**区長** ①「子育て便利帳」の情報を手軽に入手できる子育てポータルサイトの構築を進めてほしい。②生活圏内の地域で、産前・産後から就学前まで一貫した支援拠点してほしい。③地域密着の子育て支援に必要な、人材確保について所見を伺う。

トの構築は、多くの行政サービスを提供するスマートシティ推進として検討したい。③実践的な知識・技術習得のため子ども総合支援センターの専門職による巡回相談時にオンライン・トレーニングを実施。子育て支援センター等の未就学児通所施設では、具体的な事例対応を考え、人材育成を図っている。子どもにかかわる様々な機関と連携し人材確保・育成に努めたい。

子ども家庭部長

①区ホームページのスマートフォン対応や、手軽に情報がキャッチできるような子育てポータルサイトの構築に向け検討したい。②地域のワンストップ拠点として、子育て支援センター機能の拡充、子ども総合支援センターや保健所等との連携地域ボランティア育成や、知識や経験を継承するための世代間交流等で、妊娠前から子育て期まで切れ目のない支援の充実に努めたい。

自転車安全対策について

**区長** ①自転車利用者が増え事故が多発している。子どもだけではなく、親子で自転車の交通ルールを学ぶ交通安全教室の開催を提案する。②児童や高齢者の安全対策のため自転車用防護品(ヘルメット、ひじ・ひざあて)の購入費助成をしようか。

**区長** ①警察署や教育委員会とも連携し自転車交通安全教室開催の日や時間を工夫し、広く地域ぐるみの取組とする。②自転車ヘルメットの着用を春と秋の交通安全運動、区ニュース等で呼びかけ、啓発の充実を図る。自転車用防護品の助成は検討課題とする。

自転車防護品のヘルメット着用イメージ



高齢者福祉について

**区長** ①認知症サポーターは認知症の方と家族の応援者となるが、認知症サポーターを育成する講師役のキャリアバンメイトの養成が急務である。認知症サポーター研修の拡充とキャリアバンメイト養成講座の開催を推進しては。②認知症サポーターの出席講座拡充と親子で学ぶ認知症サポーター養成講座を推進してはどうか。

福祉部長

①認知症サポーターの役割は重要。今後は区が主催の研修会を検討しキャリアバンメイトの養成に取り組み。②団体や企業等の要請で、認知症サポーター養成の出席講座を実施。区から講師役のキャリアバンメイトを派遣。親子で学ぶ認知症サポーター養成講座を検討、同時に区の講座も曜日や時間設定を工夫して、様々な方に参加してもらおうように取り組む。

障がい者福祉について

**区長** 視覚障がい者への支援として、二〇一四年より「障がい者福祉のてびき」に音声コードが導入された。今後、発行する冊子や資料等への配慮、情報バリアフリー化の対応について所見を伺う。

**用語解説** ※デージー版「視覚障害者や普通の印刷物を読むことが困難な人のために、カセットに代わるデジタル録音図書

して、二〇一四年より「障がい者福祉のてびき」に音声コードが導入された。今後、発行する冊子や資料等への配慮、情報バリアフリー化の対応について所見を伺う。

**区長** 区職員の音声コード講習会開催、点字版・デージー版等、様々な手法で視覚障害者への情報提供に配慮している。まずは情報収集に努め情報バリアフリー化を進めたい。

オリビック・パラリンピック対策について

**区長** 携帯電話対応二次元バーコード「UniVoice」音声コードは、多言語翻訳情報も提供され期待が持てるが、二〇二〇年オリビック・パラリンピック東京大会を見据え、防災対策等に幅広く活用できる多言語化音声コードの早期導入が必要と考える。

教育について

**区長** 国際競争力のある都市として発展するため、多言語での情報発信等のサービスが必要。アプリや多言語版バーコード等の特徴や種類等を観光協会と連携して研究したい。

**区長** 二〇二〇年東京大会時にボランティアとして参加するため、オリビック推進教育を通じたボランティア教育が必要。今後の取組を伺う。

**教育長** 子どもたちを段階的に地域行事やスポーツ大会、二〇二〇年東京大会のテストイベントのボランティア等に参加させ体験を通し自尊感情を高め、おもてなしの心や社会貢献できる子どもを育てる。

健康について

**区長** ①生垣遺構汚染防止にスマートフォン等で健康チェックできる「健康マイレージ制度」を導入してはどうか。②定期健診等の通知に緑内障の自己チェックシートを同封し検診の啓発をしては。③定期健診に脳ドックの導入を提案する。また健康保険対象外の費用助成の検討を。④乳がんは早期発見が重要。受診率向上等に自己触診キット(自己触診クローブ)を活用してはどうか。

ける「健康マイレージ制度」を導入してはどうか。②定期健診等の通知に緑内障の自己チェックシートを同封し検診の啓発をしては。③定期健診に脳ドックの導入を提案する。また健康保険対象外の費用助成の検討を。④乳がんは早期発見が重要。受診率向上等に自己触診キット(自己触診クローブ)を活用してはどうか。

**区長** ①地域の健康づくり活動等とあわせてモチベーションアップにつながる。国や他自治体の情報を収集し検討。②早期発見につながるために前向きに検討したい。③定期健診への取り入れは困難。慎重に検討する。④費用対効果等からも、今後の研究課題としたい。

協力員の平均年齢は七十・四歳となっており、見守る側の高齢化も進んでいる。高齢者の増加に対応し、今後は様々な手段で見守り事業を展開していかねばならないと考える。区から年数回行った時期に郵送されるものはいくつもあり、日本郵便と連携し配達員が手渡しで安否確認を行う仕組みについて、以前提案したが、再度検討してはどうか。信用金庫、飲料メーカー、宅配業者、生協、コンビニなど、複数の事業者と協力してもらうことで、見守りの網の目が細くなる。多くの事業者との見守り協定についての提案について所見を伺う。

**区長** 七十五歳以上の高齢者について毎年全件調査を実施し、問題を抱えて困っている高齢者を早期に把握し、地域包括支援センターがマネジメントし、見守りなどにつながる体制を整えている。一人の高齢者を複数の事業者が、通常業務の中で見守ることができれば、より手厚い体制が構築できるため、実現に向けて検討する。

福祉、教育など3点について伺う



シブヤ笑顔  
小柳 政也 議員

福祉について

**区長** 渋谷区の高齢者見守り事業は、見守り安心サポート協力がチーム編成を行い、百二人体制でひとり暮らしの高齢者や、高齢者だけの世帯で日常生活に不安がある方を対象に行っているが、サポート

教育について

**区長** ①ユネスコが定めた十月五日「World Teachers' Day」を、「先生に感謝する日」として、渋谷で全国に先駆けて「渋谷区・教師の日」とする条例を制定してはどうか。広尾小、加計塚小の全校朝礼で、各学年の代表が先生に感謝の手紙を読み花束を贈る企画があった。頑張っている先生を気持ちの面から盛り上げ、みんなで先生を応援する日を渋谷から広げて、全国に広げたい。

②日本ではなかなか寄付文化



▷ 十月五日  
広尾小学校にて

が広まらないが、人々の暮らしと社会貢献活動が密接な米国に比べ、見劣りする実情があり、社会貢献に関する教育、初期体験の違いを指摘する声が増えている。子どもが本を読むことに、親が寄付をする仕組み「リーダーソン」と呼ばれる社会貢献プログラムがある。子どもたちが楽しみながらできる社会貢献教育を教育現場で始めてはどうか。

渋谷区男女平等及び多様性を尊重する社会を推進する条例について

問 ①今条例が制定されてから今日まで取り組んできた啓発について、これまでの取組と今後について伺う。②学校現場では既に働きかけをしていると思うが、日々多くの子どもたちと接する教職員についての取組はどうか。更に PTA、保護者の理解を深める必要もあると考えるがいかか。③本条例を広く正しく理解してもらうため、区民や団体が理解を深められるようイラストや Q & A などを入れて、誰が読んでわかりやすい印刷物を作成してはどうか。所見を伺う。

区長 ①区ニュースや区ホームページ、アイリス広報誌などで広く周知を図り、女性団体や私立学校を含め教育関係者の会合の場や、区民、事業者からの問い合わせに対して、個別に説明するなどの対応をしてきた。加えて、男女平等や性的少数者に関する課題について、講演会や講座を定期的に開催し、区民、事業者、団体の方々の参加もある。今後も様々な機会を通して、理解を深めてもらうための啓発をしっかりと進める。③様々な世代に、幅広く周知啓発していくための取組は必要不可欠である。冊子の作成、小型のリフレットや、ステッカーを配布するなど効果的と考えられる。今後、こうした印刷物の作成についても検討を行い、一層の周知啓発を図る。

**羽田空港問題、教育、福祉等 5 点を伺う**

民主党 羽田 学 議員

リテイに対する理解啓発に関して実施し、参加者から「性の多様性に対し理解が深まった」との声を得た。次年度は対象を一般教員に広げる。PTA については、毎年六月実施の研修会のテーマとして取り上げる。区が、人として尊重され自己実現できる成熟したコミュニティとして発展していくため、教職員や PTA 対象の研修を通して、本条例の理解を深めるよう取り組む。

**羽田空港問題について**

出張所窓口配布等で周知に努める。②説明会の開催方法にはそれぞれ長所と短所がある。別の方法による必要がある。③騒音や落下物等の安全確保は国の責任で対応するよう強く求めていく。

教育について ①区内小中学校で行われている組体操では、他自治体の事故を踏まえ、同様の事故が起こらないよう研究を。②一定の高さ以上の演技は行うべきではないと考えるが。

福祉について ①就労準備支援事業、家計相談支援事業、子どもの学習支援の一層の周知。より多くの生活困窮者の自立・就労支援のための相談、就労支援員増員等の予算拡充を。②

**防災について**

区内の人工透析実施医療機関の耐震性や自家発電装置整備状況の把握。災害時の透析患者、家族への情報提供体制は、透析患者に対し準備の必要性を広く周知すべき。

区長 東京都区部災害時透析医療ネットワークが状況把握、区民健康センター桜丘に情報集約し災害対策本部と共有。透析手帳の管理場所を家族で共有する等、機会を捉え啓発。

子どもの貧困対策について 児童養護施設の退所者に対し、困窮者等により、一定期間低額の家賃で高齢者向け借上げ区営住宅内の旧生活協力員住居室等を提供しては。区長 様々な視点から関係所管が連携した取組が必要。効果的な対策の実現に向け検討。

**子育て支援、教育の充実、中小企業支援等を求める**

日本共産党 田中 正也 議員

子育て支援の充実を ①保育園待機児解消のため認可保育園の増設と幡ヶ谷二丁目保育園の保土外取得を。②民間保育園の保土外処遇改善の助成拡大を。保育従事職員宿舎借上げ支援事業実施を。③「渋谷区児童青少年施設条例」は児童福祉法に基づく条例に。常勤専任指導員配置を。区長 ①様々な保育資源を活用。用地は探している。②新たな支援の考えはない。直ちに実施の考えはない。③条例案に文言はないが、児童福祉法に基づく施設としての機能を持つ。配置は国基準を遵守。

教育について ①三十人学級を国に求め、区として三十五人学級の実現を。②教師の多忙解消のため区独自の教員・講師の加配を。③学校給食を無償に。④学童保育の実施を。放課後クラブに専用室と静養室を。区長 ④放課後クラブ事業の

中小企業支援と公契約条例について ①住宅リフォーム助成限度引上げと住まいの相談窓口設置を。②公契約条例対象工事予定価格を五千万円以上に支払賃金報告の義務付けを。区長 ①考えていない。総務部長 ②労働報酬審議会の審議内容を踏まえ判断。報告の義務付けの考えはない。

羽田空港新飛行ルートについて 政府に計画撤回を求めよ。区長 区民への十分な説明、安全確保等を国に強く求める。

\* 質問・答弁は要旨を掲載しています。詳しい内容をお知りになりたい方は、区政資料コーナー、区立図書館で会議録（2月中旬発行予定）をご覧ください。

### こどもの教育と健康、まちづくりについて伺う



民主 党  
鈴木 建邦 議員

【こどもの教育と健康について】

問 ①アクティブ・ラーニングの導入にあたりどのような取り組みか。②放課後クラブの時間延長と長期休みの昼食提供を。③国際結婚や駐在家庭等複数の生活文化に直面した子どもの支援を。④子宮頸がん予防ワクチン接種の判断材料となる情報提供を。

区長 ③状況把握に連携し努め、セミナー開催等を検討。健康推進部長 ④現在もホームページで説明。対象の希望者に接種可能なことを周知。

教育長 ①「学び合い」先進的事例の視察を行い授業改善に取り組んでいる。モデル校などで ICT を活用した推進を研究。②来年度から午後七時三十分まで延長予定。給食以外での昼食提供を今後研究

【まちづくりについて】

問 ①老朽化マンションの対策について、資金面を含め強力な支援を。②通り抜け可能な私道について、合意形成が困難な場合維持更新の後押しをすべき。③民泊を条例化した一定の質の確保とトラブルの

未然防止を図り容認しては。区長 ①財政面に課題、当面は都市開発諸制度等を有効に活用し建替えを促進。②申請に基づき公共性・緊急性の高い私道から優先的に助成している。③利用者と宿泊事業者双方に有益な事業に発展するように、枠組みの構築を目指す。

### 屋根付きバス停の設置推進、人事政策など4点を伺う



須田 賢 議員

【屋根付きバス停の設置の推進】

問 関係事業者等に屋根付きバス停とベンチの設置要望を。利用者の利便性向上につながる。都、バス協会関係事業者に要望したい。

区長 関係事業者等に屋根付きバス停とベンチの設置要望を。利用者の利便性向上につながる。都、バス協会関係事業者に要望したい。

人事政策について

問 区の公共建築物に観光資源等になる絵を描いては。区長 魅力発信のために具体的な取組が可能か検討したい。

女性管理職登用の課題や環境づくりをどう考えるか。区長 人事制度の整備や、適切な運用や意識改革に努める。今後の区政に対する取組

今後の区政に対する取組

### 渋谷区男女平等・多様性社会推進会議について伺う



笹本由紀子 議員

【渋谷区男女平等及び多様性を尊重する社会を推進する条例がグッドデザイン賞を受賞したとの話があるが、区が応募、同意した事実、経緯について伺う。】

問 渋谷区男女平等及び多様性を尊重する社会を推進する条例がグッドデザイン賞を受賞したとの話があるが、区が応募、同意した事実、経緯について伺う。区長 渋谷区男女平等・多様性社会推進会議は、原則公開なのでオープンにすべき。過去に行われた会議の日程はどのように告知していたのか。③今後の推進会議の進め方について、行動計画立案の関連性と、委員追加の場合は何を基準に選定するのか。区長 ①区では応募していない。同意書とは、何を言っているのかわからない。条例の趣旨に賛同の方々が申

請したが、意図と異なった受賞だったことから、既に辞退していると聞いている。②これまでは、個人情報を扱うことが多いことから、積極的に公表せず、傍聴を希望する個人情報保護等に配慮しながら、会議は公開する。③女性団体、民生、児童委員等区民委員も加え、主に行動計画の策定について意見をいただき、今年度末までの策定を目指す。

| 議会情報公開・個人情報保護実施状況            |     |
|------------------------------|-----|
| 情報公開関係 (平成27年10月1日～11月30日)   |     |
| 請求件数                         | 2 件 |
| 文書件数                         | 2 件 |
| 公開件数                         | 0 件 |
| 非公開件数                        | 0 件 |
| 個人情報保護関係 (平成27年10月1日～11月30日) |     |
| 請求件数                         | 0 件 |

### 訂正

十一月二十二日発行 (No.268) 号二面、一柳直宏議員の代表質問「障害者福祉・高齢者福祉」の区長答弁は「渋谷区社会福祉会」でしたが、正しくは「渋谷区社会福祉士会」です。訂正いたします。

### 小冊子

「しぶや区議会のはなし」ができました

渋谷区議会についてわかりやすく説明した小冊子です。議員紹介のほか、議会のしくみや傍聴、請願・陳情などについて解説しています。主な内容は次のとおりです。

- ・区民と区議会
- ・区議会のしくみ
- ・区議会のしごと
- ・会議のあらまし
- ・議会からの広報
- ・議会の情報公開・個人情報保護
- ・区議会のあゆみ



区議会事務局 (飯庁舎第二庁舎二階) で配付していますので、是非ご利用ください。

### 次回定例会のお知らせ

●平成二十八年第一回定例会は、三月に開かれる予定です。招集日が決まり次第、区議会ホームページでお知らせします。主に、平成二十八年度各会計予算が審議されます。本会議は、初日と二日目に代表質問及び一般質問、また、最終日に議案の議決等が行われる予定です。本会議・委員会とも傍聴できますので気軽にお越しください。車椅子での傍聴も可能です。

・本会議で手話通訳を行っています。定例会初日の午後一時から五時までは手話通訳者を配置します。それ以外の日時をご希望の方は、七日前までに①住所②氏名③連絡先④希望日時を明記し、FAX等で庶務係までお申し込みください。  
\* 区議会事務局庶務係  
FAX 54458-4939  
TEL 3463-1094

### 会派等一覧

(○) 幹事長 / (○) 副幹事長  
平成 27 年 5 月 20 日現在

|                                                              |                                      |                                             |                                         |                                      |                                       |
|--------------------------------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------------|-----------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 渋谷区議会自由民主党議員団<br>○下嶋 倫朗<br>○佐藤 真理<br>前田 和茂<br>斉藤 貴之<br>藤井 敬夫 | 渋谷区議会公明党<br>○栗谷 順彦<br>○久永 薫<br>近藤 順子 | 日本共産党渋谷区議会議員団<br>○五十嵐千代子<br>○苫 孝二<br>○牛尾 真己 | シブヤを笑顔にする会<br>○薬丸 義人<br>○伊藤 毅志<br>小柳 政也 | 民主党渋谷区議団<br>○吉田佳代子<br>○鈴木 建邦<br>須田 賢 | 無所属 (議席番号順)<br>須田 賢<br>笹本由紀子<br>堀切 稔仁 |
|--------------------------------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------------|-----------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|

TEL 3463-1082

# 委員会の活動状況

平成 27 年 10 月 9 日 ~ 平成 27 年 12 月 9 日

## 常任委員会

### 総務委員会

▼パートナーシップ証明書について、制度の運用開始の報告を受けました。質疑の中で一層の制度の周知に努めるとともに、安心して相談できると事前相談窓口の運営に努めてほしい等の意見がありました。

▼幡ヶ谷二丁目防災公園予定地について、土地改良工事が十二月中、区への引渡しが一月中を予定しているとの報告を受けました。

▼「新総合庁舎等整備事業に関する基本協定」に基づき、区所有地について、共同住宅の分譲または賃貸を目的とした、定期借地権設定契約を締結した旨の報告を受けました。

▼渋谷区施設における旭化成建材株のくい施工について調査の結果、工事施工データの流用はなく、建物の施工に



解体工事中の旧庁舎

### 区民環境委員会

▼渋谷ヒカリエで開催された、未来の渋谷の可能性をひろげるシンポジウムについて報告を受けました。区民、商店街企業、行政が協力し、多様な人々による様々なアイデアの実現を目指していく仕組みづくりの輪をひろげていくこととする取組です。

▼開催内容や、展示物、来場者数、区民意見の活用等について質疑を行いました。

▼神南分庁舎の耐震補強工事実施結果について、報告を受けました。補強後、建物の耐震性能を示す指標であるIs値が、〇・七以上となったことを確認しました。

▼第四回定例会では、地域交流センター条例の一部を改正する条例や新宮下公園等整備事業に関する基本協定締結について等の議案審査を行い、活発な議論が交わされました。

### 文教委員会

▼十月十九日、渋谷区私立保育園・認定こども園連合会との懇談会を開催しました。各園の特色や保育の状況、区への要望などについて説明を受け、意見交換を行いました。

▼十一月四日、(仮称)上原

も問題がないとの報告を受けました。

### 福祉保健委員会

▼ホープ就労支援センター渋谷の視察を行い、担当者から運営状況等について説明を受けました。この施設では障害者に働く場を提供することもに、一般就労に必要な訓練等を行っており、区として、できる限りの支援をするよう要望



ホープ就労支援センター渋谷

### 議会運営委員会

▼十一月二十六日、第四回渋谷区議会定例会が招集されました。議会運営委員会では、事前に区長の出席を求め、提出予定議案として、児童青少年センターの新設に伴う渋谷区児童青少年施設条例の制定など条例九件、新宮下公園等整備事業に関する基本協定及び同事業に関する定期借地権の設定、公の施設の区域外設置に関する協議、渋谷区立二

### 自治権確立特別委員会

▼中央防波堤埋立処分場内施設の視察を行いました。二十三区で収集された粗大ごみの大半が搬入され、破碎処理後、最終埋立処分場に埋め立てられます。担当者から、サーマルサイクルの実施による搬入ごみの減少の状況等について説明を受けました。

▼全議員を対象に、研究会を開催し、「児童相談所のありかたについて」と題し社会福祉士の矢満田篤二氏に講演い

対象者等については順次拡大するよう求めました。

▼健康づくり事業について、「野菜もりもり!おいしい給食」をテーマにレシビコンテストを実施し、入賞したレシビは学校給食で提供されるとの報告を受けました。

の平渋谷荘及び渋谷区立河津さくら里の指定管理業者の指定二件、また、追加議案として、職員の給与に関する条例の一部を改正する条例など条例六件を提出すると説明を聴取しました。

▼当委員会は、この説明を踏まえ、定例会の会期及び日程について協議し、会期を十二月九日までの十四日間とすることを決定しました。

### 交通・公有地問題特別委員会

▼十一月十三日、渋谷・原宿・代々木の三警察署と三交通安全

全協会の関係者を招き、「区内の交通問題に係る懇談会」を開催しました。

初めに、警察側から区内交通事故発生状況について、昨年に比べ発生件数は減少したものの、死者数は二名増加したとの報告を受けました。

次に、各委員から要望のあった、渋谷橋交差点で天現寺方面から恵比寿駅方面への左折可標識の視認性改善や恵比寿橋入口交差点の信号機設置、笹塚駅前交差点の歩行者用信号等の改善、東海大学通りの一方通行表示の視認性改善、参宮橋交差点の渋滞対策などに対して警察側から回答があり、活発な意見交換が行われました。今後も協力して、交通問題に対応していくことを確認しました。

### 庁舎問題特別委員会

▼庁舎建替えに伴う一般定期借地権の設定等の概要について報告を受けました。

旧庁舎の敷地のうち四千五百



旧庁舎とハチ公バス

### 五輪・パラリンピック対策特別委員会

▼十一月二日・三日の両日、「渋谷区くみの広場」にプーを設けました。プー内では、二〇二〇年東京大会開催時に区内で行われる競技についてパネル展示と映像で紹介するとともに、オリンピック・パラリンピック教育推進校(園)の取組をパネルに展示し、たくさんの方にご覧いただきました。

▼十一月九日、パラリンピアンでウィルチェアー(車椅子)ラグビー日本代表選手の池崎大輔氏を講師として招き、研究会を開催しました。

▼十一月十三日、北区にある東京都障害者総合スポーツセンターを視察し、体育館、プール、宿泊施設などについて担当者から説明を受け、多くの利用者がスポーツに親しんでいる姿を見学することができました。

六十五平方メートルについて、事業者との間で一般定期借地権契約を平成二十七年十月三十日に締結したとの説明がありました。

定期借地期間は、平成二十七年十一月一日から二十七年七月か月の間の予定です。

▼仮庁舎移転に関する報告を受けました。

質疑の中で、仮庁舎へのアクセスについて、来庁者の利便性向上のためハチ公バスの乗り換え時間の改善を関連部署等と連携して検討することや三棟に分かれていた仮庁舎の入口には、庁舎内のわかりやすい案内図を設置することなどについて要望を行いました。

